

平成21年度当初予算の主要施策

〔注：◎は新規施策分〕
○は大幅増額分〕

1 愛媛の現在と未来を担う人材の育成

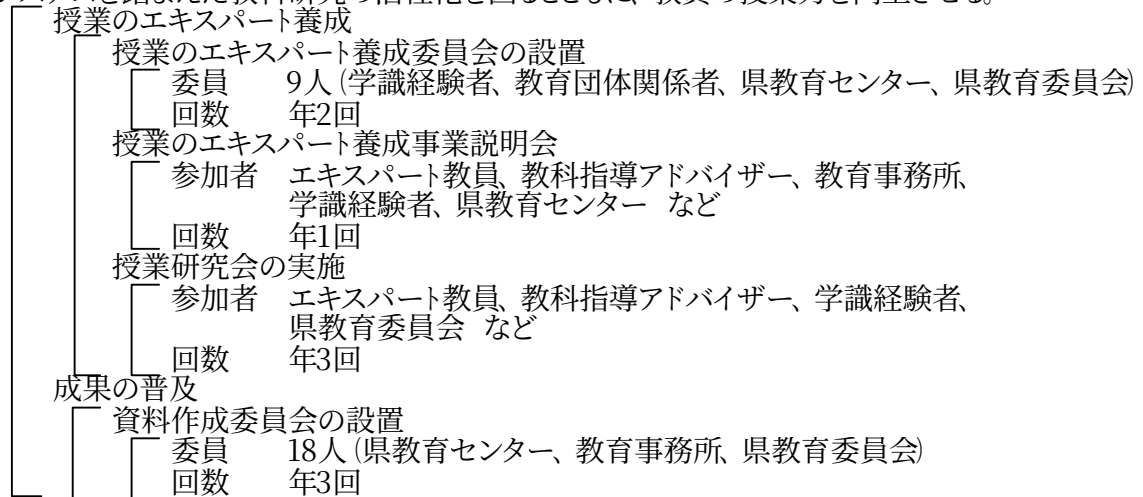
(1) 教育立県えひめの創造

【輝くふるさと枠対象事業】

◎ 授業のエキスパート養成事業費(教育委員会 義務教育課)

317万円

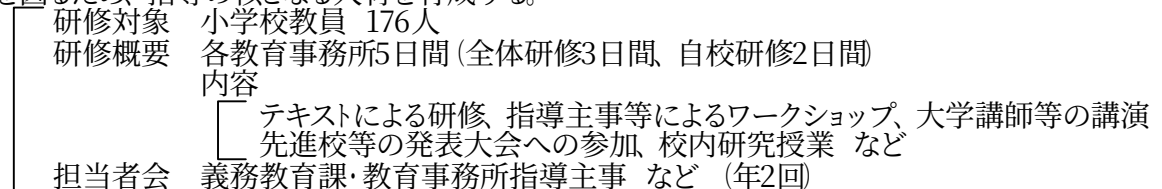
授業のエキスパートを養成することにより、新学習指導要領に対応した実践研究と、授業評価システムを踏まえた教科研究の活性化を図るとともに、教員の授業力を向上させる。



◎ 小学校英語教育指導者研修事業費(教育委員会 義務教育課)

263万円

平成23年度の新学習指導要領完全実施に向け、小学校における英語の指導方法等の確立を図るため、指導の核となる人材を育成する。



【輝くふるさと枠対象事業】

◎ 学力向上プロジェクト事業費(教育委員会 義務教育課)

300万円

県独自の学力診断調査等を活用し、県が設置する「愛媛県学力向上推進委員会」の下、指導改善や学力向上を目指した実践研究を行い、各市町、各学校における検証改善サイクルを確立し学力向上を図る。

学力向上推進委員会	
内容	県学力向上プランの策定 県独自の学力診断調査等の結果分析・考察 施策の効果的な推進方策等の検討 市町検証改善委員会の取組への支援
委員	19人(学識経験者、校長会、PTA関係者、推進モデル地域関係者、学校関係者、県教育センター、県教育委員会)
ワーキンググループ	
内容	県独自の学力診断調査の問題作成・分析 対象 小5、中2 教科 国語、算数・数学 回数 年2回 調査研究結果内容の取りまとめ
構成員	22人(学識経験者、教科担当教員、県教育センター、義務教育課)
回数	年5回
推進モデル地域(6市町)	
内容	市町検証改善委員会及び推進ブロック別協議会(中学校区単位)の開催 県独自の学力診断調査等の結果分析・考察 学習指導改善支援プランの作成 など

いじめ・不登校対策ネットワーク向上事業費(教育委員会 義務教育課)

1,357万円

いじめ・不登校の未然防止と早期発見・対応を中心とした効果的な取組みを図るため、学校・家庭・地域・関係諸機関によるネットワークを生かした支援のあり方について、実践的な調査研究を行う。

いじめ対策ネットワーク研究	
研究内容	仲間意識に支えられた集団づくりのための教育活動 教職員・保護者等の効果的な研修の実践 など
研究推進地域	1市町に委託
不登校対策ネットワーク推進研究	
研究内容	不登校の未然防止と早期発見・対応に向けた小中学校の連携のあり方、 学校復帰につなげるための体験活動のあり方 など
広域不登校対策センター(教育センター内に設置)	
	広域不登校対策連絡協議会(年1回)、不登校対策ケース会議(年5回) 不登校対策スキルアップ研修会(年5回) など
研究推進地域	四国中央市、新居浜市、今治市、大洲市、宇和島市
問題行動に対するブロック会議	中国・四国ブロック
負担区分	国10/10

【輝くふるさと枠対象事業】

◎ 高校生「愛とこころの交流体験」推進事業費(教育委員会 高校教育課) 457万円

高校生が地域の幅広い世代の人々と交流し、地域に学び、貢献する様々な体験活動を通して、自分を大切にする心や他者を尊重する心、助け合い・支え合いができる優しさ、社会性、規範意識を育む。

対象校	56校(全県立高校・中等教育学校)
内容	各校での取組み 交流体験推進委員会の設置 交流体験活動の実施 活動例 地域から学ぶ交流体験 伝統文化の継承、地域の人との座談会、保育や介護の体験 など 地域に貢献する交流体験 中学校や小学校への出前授業、パソコン教室、地域交流奉仕活動 など
	高校生「愛とこころの交流体験」サミットの開催
目的	各校の成果の普及と取組の深化
対象生徒	発表校6校(東・中・南予各2校)、一般参加校50校の代表生徒
会場	中予地区の発表校
内容	生徒による研究発表・意見交換、講演会 など

◎ しげのぶ特別支援学校スクールバス整備事業費(教育委員会 特別支援教育課) 1,983万円

東予方面から自家用車で遠距離通学している児童生徒及び保護者の負担を軽減するため、スクールバスを運行させる。

定員	児童生徒19人
運行開始時期	22年1月
((財)日本宝くじ協会の助成金を充当)	

県立学校校舎等整備事業費(教育委員会 高校教育課) 18億3,131万円

耐震化予備調査の結果に基づき、優先度の高い校舎から順次計画的に改築整備・耐震補強工事を行うことによって、耐震化を図る。

改築	(学校名)	(対象建物)	(現 行)	(改築計画)	
			(建築年度・構造)	(構 造・面 積)	
野村	本館	S39、S47	RC3F、RC4F	RC(木質)4F 2,876m ²	
耐震補強工事(8校 8棟)	(学校名)	(対象建物)	(建築年)	(構造)	(面積)
東温	特別教棟	S44	RC3F	1,841m ²	
三島	普通教棟	S43	RC4F	3,773m ²	
新居浜工業	本館	S38	RC3F	2,220m ²	
吉田	特別教棟	S46	RC3F	3,367m ²	
今治南	特別教棟	S40	RC3F	1,063m ²	
大洲	特別教棟	S39	RC4F	2,850m ²	
西条	特別教棟	S45	RC4F	1,023m ²	
松山工業	特別教棟	S43	RC4F	1,072m ²	
耐震診断・改修設計(13校 16棟)	55年度以前建築の本館、普通教棟などで次年度以降に耐震補強工事予定のもの				
	耐震診断を実施し、要補強と診断されたものについて耐震改修設計を実施する。				
耐震化予備調査(18校 30棟)	55年度以前に建築された200m ² 以上の非木造建物のうち、耐震化予備調査未実施の校舎について、コンクリート強度、老朽化、プラン(梁間スパン数、桁行スパン数)、耐震壁の配置、想定震度に対する評価を行い、改築及び耐震補強工事の優先度をランク付けする。				

(2) スポーツ立県の実現

競技力向上対策本部事業費(教育委員会 保健スポーツ課)

1億7,710万円

29年の国体に向け設置した「愛媛県競技力向上対策本部」で本格的な競技力の向上対策を推進する。

- 競技力向上対策本部
 - 構成 15人
 - 内容 競技団体の活動状況を把握し、助言等の支援活動及び補助金の配分・執行 など
- 競技力向上対策事業費補助金
 - 競技力基礎強化対策事業、競技力特別強化事業
 - ふるさと選手支援事業、愛媛国体ひめっこスポーツ大使招へい支援事業
- 愛媛国体小中学生優秀選手発掘・育成事業費
 - 体験教室、県内練習、県外遠征、練習環境整備
- 中高生競技力向上対策事業費
 - 強化合宿、練習、県外遠征、招待試合、中・高校指導者資質向上研修会 など
- 運動部活動強化・育成指定校事業費
 - 中学校・高等学校・中等教育学校における部活動の育成・強化
- 指導者資質向上事業費
 - 指導者中央講習会派遣 20人
 - 指導者資質向上講習会 80人
- 交付先 県競技力向上対策本部
(国民体育大会開催基金を一部充当)

【輝くふるさと枠対象事業】

◎ 総合運動公園改修基本設計費(教育委員会 保健スポーツ課)

2,192万円

国体開催時の拠点施設となる県総合運動公園を計画的に改修整備するため、基本設計を行う。

- 対象面積 28.4ha
- 対象施設 陸上競技場、補助競技場、体育館、テニスコート、多目的広場 など

【輝くふるさと枠対象事業】

◎ えひめ教育月間「親子で体力アップ」開催事業費(教育委員会 保健スポーツ課)

263万円

「えひめ教育月間」の趣旨を普及させるとともに、望ましい生活習慣の確立や体力向上などを図るため、親子参加型のイベントを開催する。

- 時期 21年11月22日(日)
- 場所 県総合運動公園
- 対象 幼児・児童及びその保護者 約3,000人
- 内容 親子レクリエーション、親子体操教室、健康チェックコーナー、食育コーナー、スポーツ関係団体による各種教室

【輝くふるさと枠対象事業】

- ◎ 「媛の国」柔道フェスティバル2009開催事業費(教育委員会 保健スポーツ課) 1,666万円

本県スポーツの振興や青少年健全育成などの推進のため、県武道館において国際女子柔道大会を開催するとともに、参加選手による柔道教室や小学生等の柔道大会を開催する。

期日	21年12月15日(火)～16日(水)
内容	「媛の国」ふれあい柔道教室
講師	国内トップクラス選手、大会参加各国選手
参加者	県内小中高校生など 約1,000人
内容	講師による技の解説・指導、乱取り など
キッズ柔道大会(仮称)	
参加者	幼児、小学生 約200人
国内トップクラス選手によるワンポイントレッスン	
内容	トークショー形式による小学生等に対する技術向上アドバイス
「媛の国」国際女子柔道大会	
参加チーム	嘉納杯東京国際柔道大会参加国のうち、外国4チーム及び日本選抜チーム、県選抜チーム 計6チーム
参加者	約3,000人
(宝くじイベント共催事業を活用)	

(3) 個性豊かな文化の創造

- 県民総合文化祭開催事業費(教育委員会 文化振興課) 2,018万円

期間	21年11月1日(日)～29日(日) 29日間
場所	県内各地
内容	39事業
	文化協会委託分 総合フェスティバル (高校総合文化祭「総合開会式」と合同開催 生活文化事業(4事業)、舞台芸術事業(4事業) 文芸分野事業(6事業) えひめ産業文化まつり
	県直営分 秋季県展 高校総合文化祭実行委員会委託分 高校総合文化祭(19事業)
	企画公募事業 広く県民から文化事業企画を公募し、 優秀企画を選考のうえ、実施経費を助成 委託先 文化協会 助成額 38万円
	文化協会(中学校文化祭実行委員会)委託分 中学校文化祭(1部門)
	生涯学習まつり 全国生涯学習フェスティバルの成果を生かし、 より一層の生涯学習の推進を図るため、生涯 学習の成果発表の場を確保する。 学習成果の発表 参加体験教室の開催 ふるさと学習作品展示

【輝くふるさと枠対象事業】

◎ 愛媛オペラ「ラ・ボエーム」2010実施事業費(教育委員会 文化振興課) 600万円

本県出身の世界的オペラ指揮者を招へいし、22年度に愛媛オペラを実施するための経費
 実施主体 愛媛オペラ2010実行委員会(仮称)、(財)県文化振興財団 など
 実施時期 22年10月17日(日)
 会場 ひめぎんホール(県民文化会館)
 演目 「ラ・ボエーム」(プッチーニ作曲)
 指揮 菊池彦典氏(八幡浜市出身)

美術館展示事業費(教育委員会 文化振興課) 8,045万円

常設展示の運営
 企画展の開催
 分野 絵画・書・デザイン・漫画・彫刻などの分野展
 21年度開催計画
 「薔薇空間」～宮廷画家ルドゥーテと薔薇に魅せられた人々～(絵画)
 良寛展(書等)
 「こどものとも」絵本原画展(デザイン等)
 タツノコプロの世界展(漫画)
 ルードヴィッヒ美術館所蔵20世紀の巨匠展(絵画等)
 円空・木喰展(彫刻等)

【輝くふるさと枠対象事業】

「心に響け日本の歌」開催事業費(教育委員会 義務教育課) 465万円

児童が童謡・唱歌など日本の歌を歌うことの楽しさや、歌詞やメロディーを通じて日本の歌のすばらしさを知る機会を提供するため、声楽家などを小学校へ派遣する。

回数 希望小学校62回(延べ78校)
 参加者 各校児童、保護者、教員
 内容 童謡・唱歌など日本の歌を中心とした指導

2 助け合い支え合う地域社会の構築

子どもの健全育成と子育て支援の充実

【輝くふるさと枠対象事業】

放課後子ども教室推進事業費(教育委員会 生涯学習課)

1,769万円

安全・安心な子どもの活動拠点を設け、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを推進する。

推進委員会の実施

内容 県下全域での放課後対策の総合的なあり方の検討
構成 行政、学校、福祉関係者 など 9人
回数 年3回

研修会の開催

内容 事業に係る関係者の資質向上、情報交換、情報共有
人数 150人
回数 年1回

放課後子ども教室の実施

事業主体 市町
運営委員会の設置(11市町)
コーディネーターの配置(7市町 23人)

放課後子ども教室の実施

開催日 放課後及び週末
対象者 小学校全児童
指導者 安全管理員、学習アドバイザー、地域の大人
内容 予習・復習・補習等の学習活動
スポーツや文化活動等の体験活動 など

箇所数 8市町36か所

負担区分 国1/3 県2/3・1/3 (市町1/3)

3 安全・安心で快適な暮らしの実現

環境先進県の実現

◎ 高校生地球温暖化防止推進事業費(教育委員会 高校教育課)

312万円

地域と連携した環境体験学習や地球温暖化問題の調査・研究等を行うことにより、高校生への環境教育の充実を図る。

地球温暖化防止推進校の指定(県立高校・中等教育学校20校)

実施体制

地球温暖化防止推進委員会(年3回程度)
委員 20人程度(保護者、関係機関等の代表、実行委員会生徒代表 など)
地球温暖化防止実行委員会(年3回程度)
委員 20人程度(各クラス代表、環境整備委員、生徒会 など)

推進校の取組

アクションプランの実施

対象 推進校の生徒、教職員全員
内容 研究テーマの設定、アクションプランの策定・実施
達成状況測定、評価・改善 など

「ストップ・ザ・温暖化」講演会の開催(年1回)

成果の普及
研究成果の発表会(校内)、公開(ホームページ)
地域への普及(リーフレット、ポスター、プリントの配布 など)

(「三浦保」愛基金を充当)